



まち協通信

TOWN DEVELOPMENT

第15回

「地域が元気になるために」

檜島地区まちづくり協議会では、活動の柱のひとつとして、「昔からある行事を復活させて、コミュニティを再活性化したい」というものがありました。

檜島地区には、古くから伝わり、毎年12月15日に開催される「千灯明^{せんとうみょう}」という祭りがあります。祭りは、神座組という地区の担当の組が中心となって進めるのですが、高齢化などのさまざまな理由から年々縮小されていました。

そこで昨年度から、協議会が神座組をサポートする形で、祭りの準備を一緒に進め、境内の



みんなで協力して祭りの準備です

清掃やたけあかりづくり、当日の設営を神座



組と協議会の役員が協力して行いました。

今年度行われた祭りには地区内外から約100人が集まり、30年ぶりに神事も行われ、協議会による豚汁も振る舞われました。

このほかにも、昨年から今年にかけて「花見」「避難訓練」「どんどや」が復活し、これからも、地区のため、地区の人が元気になるため、まちづくり協議会の活動は続いていきます。



地区を明るく照らすたけあかり

回復興整備課 まちづくり推進室 ☎ 289 - 2930

木山地区のまちづくりに係る談話室

場所 mirai-baco . (木山仮設商店街内)

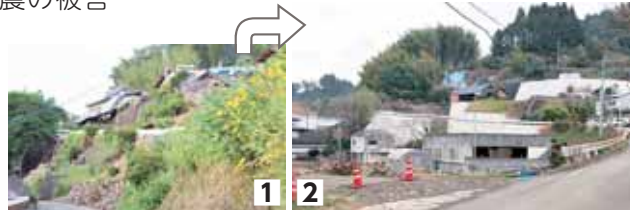
日時 水曜日と第2・4日曜日の午前10時～正午

復光興 REPORT

今月号より、熊本地震の被害から復旧・復興へ向かう町の状況をお知らせします。今回は、被害が大きかった杉堂地区の状況をお伝えします。



5



1 2

活断層付近を中心がけ崩れ等が多数発生した杉堂地区。宅地や道路の大規模な擁壁復旧工事等が進められています。

【写真】①②崩落した擁壁と復旧工事が進む町道 ③④杉堂集落を抜ける熊本高森線の土砂崩れ現場と現在の復旧状況 ⑤大きな被害を受けた上古閑地区で進められている大規模盛土造成地滑動崩落防止事業の工事 ⑥⑦崩落寸前だった熊本高森線の歩道もきれいに復旧



3 4



6 7